

2023年 12月号

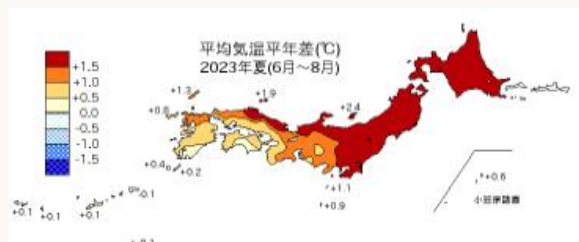
No. 51



皆さま、今年も大変お世話になりました。

暑かった...、今年の振り返りをしてみましょう

今年も残すところあとわずかとなりました。すっかり冷え込みも厳しくなってきましたが、思い出してみてください、今年の夏...、すさまじい酷暑となりました。世界的には国連事務総長のアントニオ・グテーレス氏が全世界の平均気温が観測史上もっとも高温になるという予測から「地球沸騰化」という言葉を発しました。日本でも「1898年の統計開始以降で今年の夏が最も暑かった」と気象庁が発表しております。



皆さまの職場でもこの「暑さ」は大きな問題になっているかと思います。今回のニュースレターでは「暑さ・熱」の問題を解決する方法をご紹介します。

近年の猛暑がもたらしている深刻な問題と障害

1.生産性の問題

空調を完備している工場は少ないと思います。天候や製造しているモノにもよりますが、場内温度ピークは40~45°Cになる場合もあります。このような環境は生産性の低下に繋がります。

2.離職の問題

場内の環境が悪いと環境になれていない新入社員には大きな負担となります。これが原因で離職していく事も往々にしてあります。

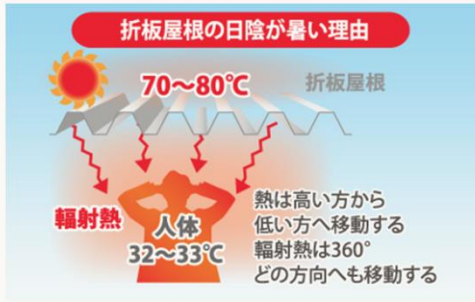
3.カーボン入トラルへの障害とエネルギーコストの上昇

多くの企業がカーボンニュートラルに向けての取り組みを進めています。しかし高温になる工場では、空調への負荷が高くなっています。イコールで増エネ、CO2排出量増となり、電気代も上昇し経済的なダメージをもたらします。

対策方法は裏面をご覧ください。

高温になる屋根が工場内を熱くする

・夏場の屋根は70～80℃

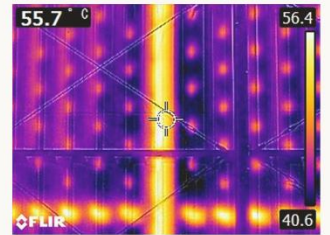


太陽からの輻射熱で夏場の屋根は70～80℃と高温に
↓
屋根が蓄えた熱が工場以内に移動、場内環境の悪化させる

という事は、「**屋根の温度上昇を抑える**」ことで工場内の温度上昇を防ぐことができます。では、どうすれば屋根の温度上昇を防げるのかを見ていきましょう。

弊社施工事例

1. 通気シート（遮光シート）



1. シートで遮光し、日陰にする
2. 日陰により屋根の温度上昇を防ぐ
3. シートと屋根の空気層が伝導熱を防ぐ
4. 空気層が暖められるのを風に力で防ぐ



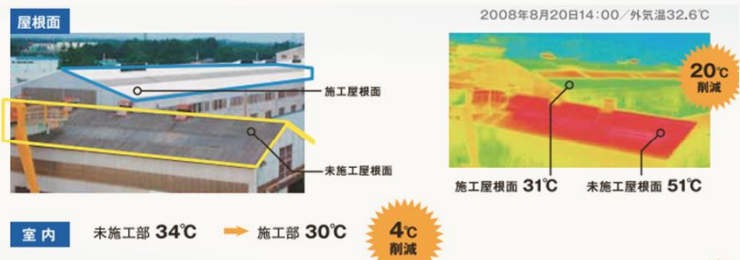
- ・屋根温度低下→場内温度の低減：最大マイナス3.5℃
- ・場内の環境改善
- ・空調負荷の低減 = 省エネ・省CO2

2. 遮熱シート



- ・反射率97%の遮熱シートで屋根の温度上昇を大幅に抑える
- ・実験結果では最大11℃の室内温度差を計測
- ・夏の暑さ解消、冷房費節約、商品在庫の劣化防止、作業環境の改善

3. 遮熱塗装



- ・一般的な遮熱塗料はシリコン系が多い
- ・一般的な塗料に比べ近赤外波長域の反射率が高い
- ・既設の延命化の効果もある
- ・メーカー事例では室内温度が4℃低減

※建物の形状や諸条件によって選択する技術が異なります。ご検討の企業ご担当者様は是非、弊社へご相談ください。

ご案内は侵入熱対策でしたが、発熱性のある設備への検討も可能です。放熱ロス対策で環境改善と省エネを両立できます。弊社HPで施工事例を掲載していますのでよろしければご覧ください。「三河設備工業」で検索。

お客様お問い合わせ記入欄

内容に関してもっと詳しく知りたいという企業ご担当者様、FAX、お電話にてご連絡ください。QRコードからHPお問い合わせでもお待ちしております。FAXの場合はお困りごとを一言ご記入願います。

TEL 0532-61-0077 FAX 0532-61-4634



御社の情報をご記入ください。

御社名： _____

ご担当者名： _____

ご住所： _____

電話番号： _____

メール： _____